

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年2月23日(2012.2.23)

【公開番号】特開2011-1407(P2011-1407A)

【公開日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2009-143675(P2009-143675)

【国際特許分類】

C 08 L 69/00 (2006.01)

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 J 3/20 (2006.01)

【F I】

C 08 L 69/00

C 08 L 101/00

C 08 J 3/20 C E Z Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月11日(2012.1.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂100質量部に対し、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂10~150質量部、(C) 熱安定剤0.01~1質量部を含有する成分からなる芳香族ポリカーボネート樹脂組成物の製造方法であって、

(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂として、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂の見かけ密度に対して80~110%の見かけ密度を有する芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂を用い、

(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂及び、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂の少なくとも一方に、粉碎品を用い、

前記成分を溶融混練することを特徴とする芳香族ポリカーボネート樹脂組成物の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

すなわち、上述の目的は、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂100質量部に対し、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂10~150質量部、(C) 熱安定剤0.01~1質量部を含有する成分からなる芳香族ポリカーボネート樹脂組成物の製造方法であって、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂として、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂の見かけ密度に対して80~110%の見かけ密度を有する芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂を用い、(A) 芳香族ポリカーボネート樹脂及び、(B) 芳香族ポリカーボネート樹脂以外の熱可塑性樹脂の少なくとも一方に、粉碎品を用い、これらの成分を溶融混練することを特徴とする芳香族ポリカーボネート樹脂組成物の製造方法によって達成される。